

2017年11月6日

新しい作用性を有するマラリア対策製品 「スミシールド™ 50WG」が WHO の認証を取得

住友化学は、このたび、マラリア対策用の新製品「スミシールド™ 50WG」について世界保健機構（WHO）の認証を取得いたしました。「スミシールド™ 50WG」は、WHO が推奨するマラリア対策手段の一つである室内残効性スプレー剤※1（「IRS」：Indoor Residual Spray）で、WHO が新しく導入した Prequalification※2 制度において認証がなされた初めてのマラリア対策用殺虫剤となります。本剤は、2018 年以降、国際機関の資金支援などを通じ順次マラリアが蔓延するアフリカ各国等に供給される予定です。

マラリアは、マラリア原虫に感染した蚊（ハマダラカ）に刺されることにより人に感染する病気で、世界で毎年 2 億人以上が発症し、約 43 万人が亡くなっていると言われています。これまで、住友化学の「オリセット® ネット」※3 をはじめとする長期残効型防虫蚊帳や IRS が普及することで、罹患率は大きく低下してきました。一方で、サハラ砂漠以南を中心とした一部地域では、既存殺虫剤に対する抵抗性の発達した蚊の発生が確認されています。

「スミシールド™ 50WG」は、WHO が約 40 年間 IRS の使用に推奨してきた有効成分とは作用性が異なる有効成分を含有していることから、既存の殺虫剤への抵抗性が発達した蚊に対しても高い効果を発揮することを確認しています。また、効果が 8 カ月間持続した試験データもあることから、マラリア対策の有効な手段として、国際機関や関係国政府などから期待されています。

住友化学は、これまでも「オリセット® ネット」※3、「オリセット® プラス」※3 や、デング熱やジカ熱対策用の幼虫駆除剤「スミラブ® 2MR」※3 などの各種製品を開発し続けてきました。これらに「スミシールド™ 50WG」を加えることで、今後もより一層効果的な感染症予防に取り組んでまいります。



- ※1 マラリア対策用室内残効性スプレー剤とは、薬剤の散布された壁に蚊が留まる際に殺虫剤に触れることで、殺虫効果を示す。WHO が推奨する、蚊の習性を利用したマラリア対策ツールの一つ
- ※2 従来よりもさらに高い水準で品質、効能、安全性に基づく評価がされる認証制度であり、医薬品分野では既に導入されていたが、今回新たに感染症を媒介する害虫駆除分野においても導入された
- ※3 WHO の推薦取得済み

以上